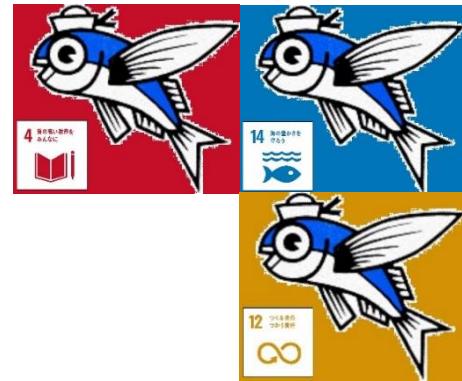


時 期	年間通して	時 間	2~3時間
対 象	どなたでも		



ビーチコーミング (BC)



＜活動の概要＞

海辺にある漂着物（貝殻やシーグラス、海洋ごみ）を拾い、分類したり観察したりする活動です。それらの漂着物がどのようにして浜に流れ着いたのかを考えると、日々の生活や海と山の繋がり、日本と諸外国の繋がりが見えてきて、環境について考えるきっかけとなります。また、漁具などの漂着物もあり、それらが海と海の生物にどのような影響を与えているかを考える機会にもなります。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- 漂着物を拾うを通して、海の環境を知ってもらう。
- 仲間と漂着物を分類し、それについて話し合い、環境問題への関心を高める。
- 活動を通して、綺麗な海を守るために自分たちにできることを考える。

準備物

自然の家で準備しているもの	個数	置場所	団体(個人)で準備するもの
バケツ	30 個	【事務室】	水分(500ml 以上)
火ばさみ	30 本	【事務室】	帽子
説明資料 (QR コードからダウンロード可)	1 セット	【事務室】	軍手
アップサイクル品の見本	複数個	【事務室】	漂着物袋
ライフジャケット	約 300 着	【ピロティ】	ぬれても良い運動靴

ビーチコーミング

説明資料

国立若狭湾青少年自然の家



海洋ごみ問題の解決のための取り組み

右:田島の浜
下:アップサイクル製品



ビーチコーミング

説明資料

説明資料



バケツ

火ばさみ



アップサイクル品

活動内容（手順）

所要時間（目安）	項目	内容	備考
活動前	準備	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 団体準備の物品の用意をお願いします。 <input type="checkbox"/> 海象状況によって活動できない場合があります。事務室で確認をお願いします。 <p style="text-align: center;">午前 8:40 / 午後 12:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自然の家準備の物品を各場所に取りに行きます。 <input type="checkbox"/> 団体で決めた場所に集合し、活動を始めます。 <p>※ 海の近くで活動をする場合は、ライフジャケットを着用してください。</p>	
10分～15分	活動方法の説明と安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 活動場所、準備物の確認をします。 <input type="checkbox"/> 説明資料を使用し、活動を進めていきます。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意（海には入らない、トイレの場所、引率者の待機場所）を行います。 	※班編成などは団体で決めてください。
40分～60分	活動	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 集合場所から活動場所へ移動します。 <input type="checkbox"/> 漂着物をバケツに入れながら歩きます。 (例) 大浜～なぎさ遊歩道～赤石の浜 	※ルートや振り返りの場所は団体で決めてください。
15分～20分	集合 ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 団体で決めた場所に集合します。 <input type="checkbox"/> 全員の人数と体調不良者の確認をします。 <input type="checkbox"/> 拾った漂着物を分類したり、活動を通して気付いたことについて話し合ったりします。 <input type="checkbox"/> 引率者によるまとめをします。 	
	片付け	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 拾った漂着物は、分類をして指定の場所に捨ててください（下の「漂着物の分類について」を参照してください）。 <input type="checkbox"/> バケツや火ばさみは個数を確認し、洗って事務室に返却してください。 	

漂着物の分類について

漂着物（人工物）	木、海藻（自然物）
ペットボトル、漁具、ブイ等	木、海藻等
<p>ピロティ付近の漂着物入れに分別して入れてください。</p>	

※金属類は漂着物入れの横にある一斗缶に入れてください。

※分別の判断が難しい漂着物については、自然の家事務室までお問い合わせください。

ふりかえりの視点

- 捨った漂着物はどこからきたのか
例) 漂着物をみんなで分類(例:燃える漂着物、缶、ペットボトル、漁具、金属)し、気になった物を一つ選び発表
自然物と海の豊かさや森との関係、人工物や自然物が流れてくる理由
 - ビーチコーミングを通して、自分自身が環境に対して出来ることを考える
例) 漂着物の分別、SDGsの視点
 - 普段の自分の生活を振り返る
例) 身近な地域の環境問題、日本の漂着物事情など
 - アップサイクルの取り組み紹介
例) 環境問題に対して動いている団体を探すなど(事後学習)
- ※ 説明資料も参考にしてください。



ビーチコーミング
説明資料

指導上の留意点

- 活動場所は、大浜、赤石の浜です。
- 岩場は滑りやすく危険なため、手をついて歩くなどの、事前指導を十分に行ってください。
- 衛生上・安全上、漂着物は素手で拾わず、軍手を着用するか、火ばさみを使って拾ってください。
- 緊急時には速やかに事務室まで連絡し、指示に従ってください。
- お貸しする無線機は陸上でご使用ください(防水ではありません)。
- 突風、雷、暴風や波浪の警報、濃霧などにより、活動を中止とすることもあります。
- 热中症警戒アラートが発表された場合は、団体との協議の上、活動時間の短縮や活動を中止とする場合があります。